



関中央ロータリークラブ

2020-2021 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 川村紳一 副会長 西田健一 幹事 石原妙生 クラブ会報委員長 大藪太

2020~2021年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「一人ひとりが輝く」

～会員同士の絆を大切に～



ロータリーは機会の扉を開く

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会
第 2038 回例会 2021 年 5 月 13 日 (木) / 担当 インターアクト委員会

*会長あいさつ 川村 紳一会長

5月も半ばを過ぎて、さわやかな気候になりました。先日の土曜日に、子ども食堂支援米栽培田の代かき、あぜ草刈りに、熱い中、ロータリークラブ会員 11 名が参加して頂きお疲れさまでした。秋の収穫を心待ちにしながら、それまで田んぼの管理を小川糧司会員の指導の下、あぜ草刈り等手伝いながら収穫を待ちたいと思います。

今、新型コロナ禍で毎日暗くなるようなニュースばかり報じられています。昨年から続く災害とも言えるコロナの影響で、社会が変わりつつあります。飲食店での食事会も旅行も音楽会やカラオケもほとんど休業や時短を余儀なくされ、会社も学校もオンラインを求められ楽しみを奪われた感じがします。

しかし、ふりかえれば確かに時代と共に人の価値観は随分変化しました。昭和の終わりバブルがはじける前、社会は金、金の風潮でした。正直者がバカを見るとも言われ、土地ころがしで大金を得る人、株でもうける人が多くいました。その後、平成になって不況が続き格差は広がりましたが、貧乏は恥で

はなくなった気がします。

先日、中学3年になった孫が高騰している株で多額の収入を得て生活している人のことを「そういう仕事って何も社会に役立ってないね」と言いました。確かにそれはむなしいことです。今日、コロナ禍で本当に大変ですが、ロータリーの根本となる人のために何ができるかを謙虚に考えていきたいと思えます。

本日は、インターアクト委員会担当で、本来は例会場での卓話をお願いしていましたが、まん延防止等重点措置が発令になりましたので、急遽、原稿例会に変更しご寄稿をお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。本日の原稿卓話は、(有)虎屋 代表取締役・関市PTA連合会 会長 古田敦資様によるテーマ「聖火ランナーを務めて」となっており、どのような内容か楽しみにしています。

それでは、政府が言う7月末までに高齢者のワクチン2回接種が終わることを願ひまして本日の挨拶とさせていただきます。

*原稿卓話

寄稿者 (有)虎屋 代表取締役
関市PTA連合会 会長
古田 敦資様

テーマ 「聖火ランナーを務めて」

本当に夢の中にいるような気持ちでした。2021年4月4日、1kmを超える関係車両の列と、数百人の関係者スタッフとともに、大垣のまちで聖火を手にして走らせていただきました。雨中ではありましたが、沿道には多くの方がいらっしゃり、反対側の沿道や建物の2階、また対向車の窓からもたくさん手を振っていただきました。事前に下見をしており、距離は実質150メートルほどであることを承知していましたので、2分足らずの夢の時間をめいっぱい楽しもうと、とにかくできるだけたくさんの方の顔を見て、手を振りまくりました。1年間待った聖火リレーは、待った期間も含めて、とてつもなく貴重で大きな経験になりました。



2019年夏、日本中がラグビーW杯で沸いていました。家のテレビやパブリックビューイングで観戦していた私は、チケットの応募すらしなかったことを悔やんでいました。たとえ他国同士の試合でも国際的なビッグイベントを現地で感じるチャンスがあったのに……。その頃「東京オリンピック・聖火ランナー募集」の告知を目にするようになり、「これなら自分も地元で東京オリンピックに携わることができる」と思い、応募を決意しました。応募先は、岐阜県の枠を含め、コカコーラさんやトヨタ自動車さ

んといったスポンサー企業の枠など、5つの応募ルートがあり、そのうちの4つに応募をしました。応募には自己PR文が必須ですが、限られた文字数の中でどれだけ自分が今まで取り組んできたことを応募テーマに沿って表現するか・・・ずいぶんと頭を悩ませました。私の場合は、和菓子屋の3代目として、お客様に喜んでいただける和菓子を製造販売してきた中で、全国菓子博覧会での受賞歴や、皇室の御来賓への和菓子の提供、高校生との商品開発、市内小中学校での職業講話や和菓子体験、観光新商品の開発など、和菓子の普及と地域の活性化に努めてきたことをPRしました。また、他者の推薦文が必要なものもあり、こちらは地域活動でよくご理解をいただいている「NPO法人ぶうめらん」の北村隆幸代表にお願いをしました。

そして、2019年の暮れに「聖火ランナー選出!!」という感激のメールが届き、家族で喜びと驚きを共有しました。結果として、NTTさんの枠で選出され、「つなぐ」というテーマで書いたPR文が選考を通ったということになりました。ところが、年が明けた2月ごろから新型コロナウイルスの感染拡大により、聖火リレーだけでなく、東京オリンピックの開催自体が振り回されることになりました。

2021年5月、聖火リレーが岐阜県を通過して1か月あまりが経ちますが、無事に開催できて良かったと思う反面、その後の各地での公道でのリレー中止による代替開催や、トーチキスだけに縮小したところ、さらにはリレー自体が中止になり聖火を手にすることが叶わなかったランナーの皆さんのことを思うと心が痛みます。そんな中で私ができることは、「何事にも希望を持って、前向きに取り組む」姿勢を持ち続けることです。それが、聖火ランナーを務めた者の責任であるように感じています。そして、今はまず無事に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちのパフォーマンスにより世界中が感動し、コロナ禍を乗り越えられるステップになることを願っています。最後になりますが、選出

いただいたNTTさんには、聖火トーチを含めてトーチスタンドや走行証明書、横断幕やオリジナルの靴ヒモなどの応援グッズを、またリレー当日もパレードカーから華々しいご演出をいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。

***子ども食堂支援米栽培田 代かき・草刈り作業**

日時：2021年5月8日（土）



<次例会の案内（予定）>

第2039回 2021年6月6日（日）午前9時～

長良川流域一斉環境調査事業

担当：環境保全・社会奉仕・IA委員会